

# 京 都 府 J A 女 性 部 3 か 年 活 動 計 画

2019年2月26日  
J A京都府女性組織協議会

## I. 基本方針

J A京都府女性協では、2016年度からの3か年活動計画の実践をすすめ、府内J Aの各支店・支部において、食と農、暮らしや地域にかかわる協同活動等の取り組みにより、J A女性部活動の充実による組織の活性化と、地域の活性化に取り組んできました。

J Aの自己改革がすすめられている中、私たちJ Aに集う女性にも重要な役割があります。私たちJ A女性部はJ Aの組合員組織として、第28回J A京都府大会の決議内容および、J A全国女性協次期3か年計画を基本に、食と農を基軸とした活動に取り組み、J Aとともに京都の農業振興と地域の活性化の主役・パートナーとなり、J A女性組織の基盤強化に向け、次の重点活動に取り組めます。

### (1) 食を守り農を支える活動の実践

「食と農に関する活動の強化と地域の活性化」

### (2) 仲間とともに協同活動の実践「女性部活動の充実による組織の活性化」

### (3) J Aの組合員としての活動の実践「J A運営への参加・参画」

## II. 活動テーマ

「協同の力で地域がつながる豊かな未来へ

～ J A女性 地域で輝け50万パワー☆ ～ 」

## III. 取り組み期間

2019年4月から2022年3月まで

## IV. 重点活動

### 1. 食と農に関する活動の強化と地域の活性化

#### (1) 食と農を基軸とした活動の実践

あらゆる世代に対する食農教育活動の実践により、地産地消運動の展開、安全・安心な国産農畜産物の消費拡大をすすめ、食や農の大切さを伝える活動に取り組めます。

また、食や農に関する学習活動をとおして、家庭からの食品ロスの削減や食・農の情報発信に取り組みます。

(2) 地域を軸とした活動の実践

協同や助け合いの精神に基づき、地域における環境・文化への貢献や、災害時等の防災対策、ボランティア活動等の地域貢献活動等に積極的に取り組みます。

(3) J A京都府青壮年・他団体等との連携による活動の展開

J A京都府青壮年や各生産部会組織と連携して、府域やJ Aにおける活動に取り組み、協同の輪を広げ京都農業の振興および地域の活性化をすすめます。

## 2. 女性部活動の充実による組織の活性化

(1) 支店・支部における女性部活動の充実

支店・支部を核とした活動を支店長・事務局との連携を強化して取り組み、女性部活動の充実をはかります。

(2) 女性部員加入運動の展開

より多くの仲間とともに、地域に根付いた女性部活動を拡充強化するために、フレッシュミズ世代の女性をはじめ、女性部未加入の組合員女性や地域住民への女性部加入促進を引き続き展開します。

(3) フレッシュミズ世代の活動支援

若い世代の女性のJ A女性部活動の参加促進に向け、府域での情報交換会および各種研修会や学習会を開催して、フレッシュミズ世代の活動の充実をすすめます。

(4) 世代別・目的別活動と世代間交流活動の充実

世代別・目的別活動の充実に向け、新たなサークル活動の立ち上げや世代・地域を超えた交流活動等の実施により、活動の拡充をはかります。

(5) 組織活動の充実に向けた研修会・学習会の開催

府内・府外のJ A女性組織の活動事例や、J A教育文化活動に関する研修会・学習会等を開催し、組織活動の充実をはかります。

### 3. J A運営への参加・参画

#### (1) J A運営への参画

J Aを自らの組織として意識するため、部員の組合員加入と役員・総代の選出をJ Aと連携してすすめ、女性のJ A運営の参画に積極的に取り組みます。

#### (2) J A役職員との対話による連携強化

J A女性部活動やJ A運営に対する意見・要望を伝え、組織基盤の拡充と活性化をはかるため、J A役職員との本支店における懇談会の開催を定期的実施します。

#### (3) 支店運営への参画

支店における協同活動を充実するため、地元理事や総代・組合員等で構成する支店活動活性化委員会への参加と参画をすすめ、J Aと一体となって協同活動に取り組みます。

#### (4) J A・協同組合に関する学習活動の展開

J A女性部組織の一員として、自らの意識改革と協同の理念のもと活動を実践するため、J A女性組織綱領および5原則の理解深耕や、『家の光』や「日本農業新聞」等を活用したJ A・協同組合に関する学習活動の強化に取り組みます。